

(様式2)

革新的サービス

①平成 24 年度補正ものづくり中小企業試作開発等支援補助金、②平成 25 年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業及び③平成 26 年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金に取り組んでいる方は、以下に受付番号を記入してください。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①受付番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②受付番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③受付番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事業計画書

(1) 応募者の概要等

(連携体で申請を行う場合は、本ページを複製して、全ての応募者について記載してください)

1. 応募者の概要

| | | | |
|--|------------|-------------------------|-------------|
| 企業名(法人番号※):株式会社 ●●●●● (●●●●●) | | | |
| 代表者の役職及び氏名: 代表取締役 ●●●●● | | | |
| 住所:(〒 ●●●-●●●●●) ●●●●●●●●●●●●●● | | | |
| 電話番号: ●●-●●●●●●-●●●●●● | | FAX番号: ●●-●●●●●●-●●●●●● | |
| 補助事業の実施が本社の所在地と異なる場合の実施場所 | | | |
| 住所:(〒 -) | | | |
| 事業所名: (本社住所ではなく本欄の住所で事業を行う場合は、本欄記載の都道府県の地域事務局に事業計画書を提出してください) | | | |
| 電話番号: | | FAX番号: | |
| 担当者の役職及び氏名: 代表取締役 ●●●●● | | | |
| 担当者のメールアドレス: ●●●●● | | | |
| 資本金(出資金) | 200 万円 | 従業員 | 5 人 |
| 主たる業種(日本標準産業分類、中分類) | 39 情報サービス業 | 創業・設立日 | H ●●年●●月●●日 |

※ 法人の場合は、法人番号を記載してください。法人番号がない場合(個人事業主等)は「なし」と明記してください(マイナンバー(個人番号)は記載しないでください)。

※ 法人番号欄に記載がない場合は、書類不備とさせていただきますので、必ず記載してください。

2. 株主等一覧表

(平成28年4月1日現在)

| 主な株主又は出資者 (注) 出資比率の高いものから記載し、大企業は【 】に◎を記載してください。6番目以降は「ほか○人」と記載してください。 | 株主名又は出資者名 | | 所在地 | | | | 大企業 (公募要領 P4 参照) | 出資比率(%) |
|---|-----------|--------|--------|--|--|--|---------------------|---------|
| | ① | ●●●●●● | ●●●●●● | | | | | 【 】 |
| ② | | | | | | | 【 】 | % |
| ③ | | | | | | | 【 】 | % |
| ④ | | | | | | | 【 】 | % |
| ⑤ | ほか | 人 | | | | | | % |

3. 役員一覧(監査役を含む。別紙として添付することも可能です)

| 役職名 | 氏名 | フリガナ | 生年月日 | | | | 男女別 | 会社名 注他社と兼務の場合 |
|-------|--------|--------|-------|---|---|---|-----|------------------|
| | | | 昭和・平成 | 年 | 月 | 日 | | |
| 代表取締役 | ●●●●●● | ●●●●●● | 昭和 | ● | ● | ● | 女 | |
| | | | | | | | | |

4. 経営状況表 (注) 直近2期分の実績を記載してください。

(単位:百万円)

| | 平成25年4月~平成26年3月 | 平成26年4月~平成27年3月 |
|-------|-----------------|-----------------|
| ①売上高 | ● | ● |
| ②経常利益 | ● | ● |
| ③当期利益 | ● | ● |

(2) 事業内容 (枠に収まらない場合は、適宜拡げてください。複数ページになっても結構です)

| | |
|---|--|
| 1. 事業計画名 (30字程度) 生産管理クラウドサービス構築事業 | 本事業で取り組む対象分野となる業種 (日本産業分類、中分類) 39 情報サービス業 |
| 2. 事業計画の概要 (100字程度) ●●業に特化したB to BのECサイトと連動する生産管理システムを開発、販売。製品の管理をスマートフォンやタブレットの簡便なUIで行えるようになるほか、新規顧客開拓にも役立ててもらえるクラウドサービスを提供する。 | |
| 3. 対象類型 中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドラインとの関連性 (該当する項目に☑を付してください。複数選択可) <input type="checkbox"/> 付加価値の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 新規顧客層への展開 <input type="checkbox"/> 商圏の拡大 <input type="checkbox"/> 独自性・独創性の発揮 <input type="checkbox"/> ブランド力の強化 <input checked="" type="checkbox"/> 顧客満足度の向上 <input type="checkbox"/> 価値や品質の見える化 <input type="checkbox"/> 機能分化・連携 <input checked="" type="checkbox"/> IT利活用<Ⅰ> <input type="checkbox"/> 効率の向上 <input type="checkbox"/> サービス提供プロセスの改善 <input type="checkbox"/> IT利活用<Ⅱ> 注. 中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドラインの内容は公募要領P28を参照 | |
| 4. 事業類型 (申請する類型に☑を付してください。いずれか1つ) 一般型 —————→ <input type="checkbox"/> 一般型 小規模型 —————→ <input type="checkbox"/> 試作開発等 <input checked="" type="checkbox"/> 設備投資のみ (どちらかに☑) 高度生産性向上型 —→ <input type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> 最新モデル (どちらかに☑) | |
| 5. 事業の具体的な内容 (主にこの内容について審査委員会で審査します) <u>その1: 革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善の具体的な取組内容</u> [※] <small>※ 高度生産性向上型の場合は、IoT又は最新モデルを用いてどのように生産性を向上するかを具体的に説明してください。</small> 【当社の事業概要】 当社は●●年前に創業し、主にシステムの開発とIT技術を駆使したコンサルティングを行っている。●●業に対して先端のIT技術を提供し産業振興の支援に努めている。現在、顧客の数は●で増加傾向にあり、売上も前年度比●%アップと、安定した経営を行っている。 特に近年では●●事業が好調に推移している。 (会社事業のイメージ画像等があると、その後の説明に入り込みやすい) 【●●事業の概要】 (この申請書では好調な事業にクラウドサービスを付加してさらに強化することを狙う) ●●事業の特徴を以下に列記する。 ① (クライアント利益に資するサービス) ② (社会一般に対しても好影響のあるサービス) ③ (業界の課題に対して効果が期待できるサービス) <u>(主なクライアント) にとってのメリット</u> (1) (主なクライアント) は従来、(主なクライアントの課題) だった為、その生産性を最大限に発揮することができていなかった。当社の●●事業サービスによって、こうした現状を打破し、(主なクライアントの課題) を解消することができている (例えば販路の拡大など)。 (2) (主なクライアント) からの要望が多いのが、(主なクライアントの要望) である。当社 | |

の●●事業サービスにより（主なクライアントの要望）に対して●%の改善を実現した。

（3）（主なクライアントの今後予想される課題）に対しても当社の●●事業サービスは有効である。（主なクライアントの今後予想される課題）には（対応するサービス）によって解決可能であり、実際に●●%の改善が見られた。

（4）当社の●●事業サービスは（主なクライアントに好評だったサービス）によって、手軽に●●することができる。これによって（主なクライアント）は●●の管理が容易に行えるようになり、経営計画の資料としても使用していただいている。

（5）当社の●●事業サービスは（主なクライアント）のスピード化に資することでも定評がある。ITを活用した●●のため、従来の作業が●%短縮し、経営のスピード化を実現している。

（以上に挙げたメリットを補完する数字のデータや、具体的なイメージに役立つ図表等を貼付したい）

当社の●●事業サービスの円滑な遂行および、（主なクライアント）へのさらなるサービス強化のためにも、今回の補助事業による新サービス開発に至った。

【（クライアントの）業界の現状】

我が国における平成●●年の●●業の生産額は●●億円である。そのうち（クライアントの）業界の製品が占めるのは、●%で、下図の推移を見ればわかるように比較的安定している。業界全体の推移が低迷する中で（クライアントの）業界は今後を期待することのできる分野であると考ええる。

（上の文章を補完するグラフを貼付する。政府が発表している白書等、客観的かつ信憑性の高いデータであることが望ましい）

（クライアントの）業界の課題

（クライアントの）業界は、（ポジティブ要素）の一方で、（ネガティブ要素1，2，3）など経営面での課題が多く残されている。

（1）ネガティブ要素1

（生産的な課題など）

技術の進歩によって生産性が向上しているものの、需要と供給のバランスが崩れやすく生産過剰問題を抱えている。特に（主なクライアントが取り扱っている製品）は収益性が高く、多くの業者が生産するため、生産過剰になって価格が下落するリスクが高い。

（2）ネガティブ要素2

（環境問題といった社会的な課題など）

製品の製造に伴う●●の排出が環境への悪影響を指摘されている。

（3）ネガティブ要素3

(消費者に対する課題など)

製造工程に対する消費者の目が厳しくなっており、安全基準や、不純物混在等に対して不安を払拭しなければならない。

(4) ネガティブ要素 4

(流通における課題など)

販路の多様化は業界に選択肢を提供したものの、事務的な手続きの業務量増加も伴っている。

(5) ネガティブ要素 5

(品質に対する課題など)

主力商品である●●の仕上げは、工場が雇用している熟練者による“職人技”に頼っている面が強く、品質の均一化や、技術の承継に課題がある。

(6) ネガティブ要素 6

(その他の課題など)

業界の特徴としてコンピューター操作に疎い方が多く、情報共有の手段が電話や FAX が主流である。したがって正確さに欠けたり、タイムリーな意思疎通ができないケースがある。

(ネガティブ要素を補完するような資料があれば貼付したい)

【当社の強みと弱み】

当社は、創業以来一貫して●●業に対してコンサルティング支援を行ってきた。特に地元●●県内では多数の顧客を持ち、流通コンサルティングにアドバンテージを持っていると自負している。(取り組んできた強みといえる事業の羅列)。これらのノウハウを元に●●業に特化したB to BのECサイトを開発・展開している。

(SWOT 分析の表などを貼付)

【申請事業の概要】

新事業は、●●業特化したB to BのECサイトに連動させる形で新たな生産管理システムを構築し、クラウド方式で提供する。

(システムを図示し、それだけで概略をつかめるようにしたい)

(別の図として、既存のサービスとの対比などをするとより魅力を訴求できる)

新システムの概要

新システムは、前述の業界が抱える課題を解決し、●●業の生産性を向上するために、入荷、在庫、出荷、販売価格、加工賃、保管料、運送料などをスマートフォン画面に登録し、管理することができる。